

【 リニア駅の周辺整備 空間イメージ 】 パターン 駅・公園一体型空間

資料2-1

【観光交流施設】

- ・緑景観の創出のため、建物屋上部においても緑化(樹木、花、果樹等)や休憩所を整備し、屋上を公園の一部として利用
- ・利用者の利便性(雨天時の利用や夏期の日差し対策)のため、1階に公共交通ロータリーや来場者駐車場を整備

【公園施設】

- ・「緑と水を満喫できる空間」として芝生広場や樹木、親水施設、修景池などを整備



【芝生広場】

憩いの空間や災害時の活動スペースとしての芝生広場を整備

【産業振興施設】

起業を誘導するためのインキュベーションセンターや近郊に集積する関連企業と連携する研究センターなどを整備

【イベント広場】

隣接するAIMメッセなどと連携するとともに、情報発信を行う場としてのイベント広場を整備

【修景池・調整池】

周辺地区の浸水対策としての調整池を整備(調整機能は、地下に設置)

これは、あくまで駅周辺の空間をイメージしたものです。
実際の配置、機能、デザインなどは、今後さらに検討して決定していきます。
なお、駅部のイメージは、JR東海プレス資料(H25.5.13)を参考に、山梨県が作図したものです。